



アース・エコ メールマガジン

アース・エコ
メールマガジン No.9-9
2018 年 8 月 7 日(立秋)
特定非営利活動法人
アース・エコ 発行

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にアース・エコの活動をお知らせするため、月 2 回、メールマガジンをお届けしています。

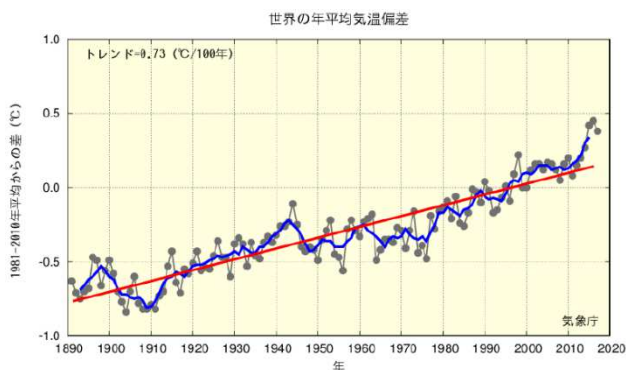
気象災害に対しては観測技術の進歩で多くの情報が提供されるようになり、通信システムの発展で情報をどこでも速やかに入手可能になりましたが、私たちに情報を正しく受け止める感性が十分備わっていないことが大きな問題です。自分の命を守るためには早め早めの判断と行動が重要です。



気候変動と異常気象

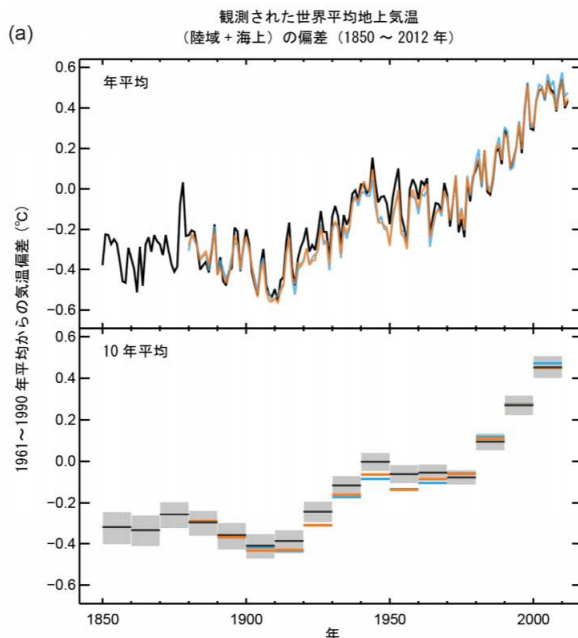
気象庁の発表では 7 月の東日本の月平均気温は平年より 2.8℃高かったそうです。熊谷で観測史上 1 位の 41.1℃が記録された 23 日には横浜でも最高気温が 37.2℃に達しましたが、横浜の 7 月の平均気温は平年より 3℃高い猛暑でした。この猛暑は温暖化の影響と考えがちですが、気候変動と異常気象の関係はそれ程単純ではありません。

「気候」は数年～数十年の長期の気象データを平均したときに得られる特徴を意味し、「気象」は大気中で時々刻々起きる様々な自然現象を意味します。「気象」と同じ意味で「天気」が使われることもあります。



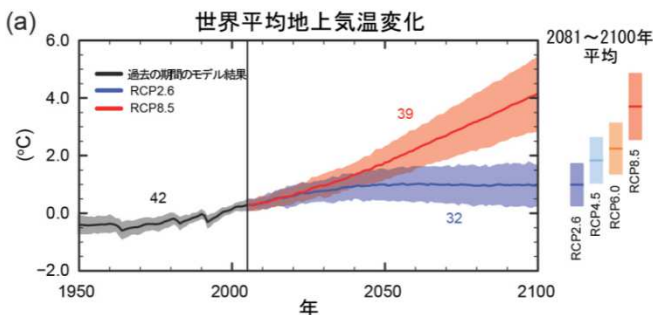
これは世界の年平均気温偏差のグラフで、黒は毎年の偏差、青は 5 年移動平均を示し、赤い直線は長期のトレンドを示します。このグラフを見て、温暖化はいつ頃始まったと言えるでしょうか。IPCC 第 5 次評価報告書 (AR5)には右上の図が掲載され、10 年単位の平均が示されていて、1970 年代頃から温暖化が進んだと解釈できます。それ以前の変動は人間の活動に依らない自然起源によると AR5 では説明しています。

このように「気数候」の変化は十年単位のスケールで



見なければ正しく捉えるのは難しいことが分かります。

それでは今回の異常気象は気候変動と全く無関係かというところとも言えません。温暖化が進めば日々の気温も高い方にシフトすることは容易に想像できます。

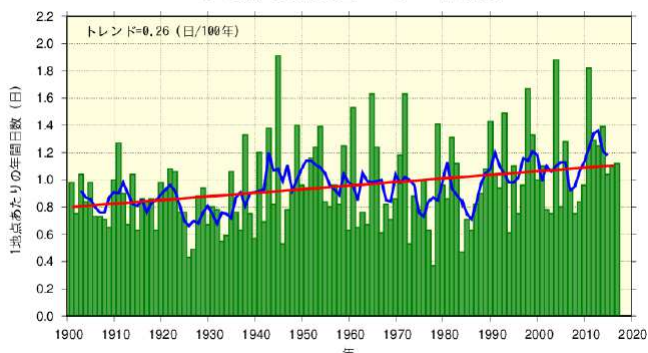


これは AR5 で見慣れたグラフですが、温暖化に対して有効な対策が取られなかった時のシナリオが赤線で

示されています。この赤い線に沿って気温が上昇すると仮定すると 21 世紀後半には今より 3℃程度気温が上昇することになります。その頃、横浜では今年 7 月の気温が当たり前になっているかも知れません。

示します。温暖化が進むと一回毎の降雨量は増える、すなわち雨が降る時にはまとまって降るようになると言われていています。

【51地点平均】日降水量100mm以上の年間日数



これは 1 日の降水量が 100mm を超えた日数のグラフで、青は 5 年移動平均、赤の直線は長期変化傾向を

「平成 30 年 7 月豪雨」では 6 日から 8 日にかけて西日本各地で大雨となり、11 府県で大雨の特別警報が発表される異常な事態になりましたが、梅雨前線や直前に通過した台風などの影響があったとされます。温暖化が進むとこのような事態が頻発する訳ではありませんが、大雨のリスクが増大することには注意が必要です。

今年の 7 月は数十年先の天気を取って体験したのかも知れません。温暖化がこの先どうなるかわかりませんが、このような天気が当たり前にならないことを願います。皆さんも熱中症や豪雨災害から自分の命を守る術を身につけるように努めてください。

[桑原]

夏休み環境学校 相模原市立大野南公民館

7 月 24 日(火)、相模原市立環境情報センター主催による夏休み環境学校を開催しました。タイトルは「親子で省エネ！工作教室～スカイツリーを作って LED でライトアップ～」です。会場は相模原市南区の相模原市立大野南公民館で、講師・スタッフとして 10 名のメンバーが参加しました。集まったのは小学生 24 名とその保護者の皆さん。工作だけでなく、地球温暖化の学習や省エネ実験も体験しました。



相模原市には 3 つの区があるので、区を巡回するように毎年会場を変えて開催しています。ここ数年続けて行っているスカイツリー工作も毎年改良を重ね、組み立て易くしています。そのためか今年はトラブルも全くなく、全員が順調に工作を完成できました。



今年最大の変更点は、スカイツリー本体の紙の蛇腹を支える支柱を、プラスチック製ストローから天然素材の竹に替えた点です。マイクロプラスチックによる海洋汚染の問題でプラスチック製ストローの使用をやめた企業があります。実際の汚染防止効果より象徴的な意味合いが強いのですが、アース・エコもこのような潮流に沿った配慮をしています。

[桑原]

清新公民館「環境教室」 相模原市立環境情報センター



7 月 27 日(金)、相模原市立清新公民館からの依頼で「さがみはら地球温暖化対策協議会」(温対協)が環境教室を開催しました。公民館と温対協との共催事業ですが、アース・エコは温対協の団体会員として開催に協力しました。公民館はリニューアル工事中で使用できないため相模原市立環境情報センター研修室が会場です。講師・スタッフはアース・エコ 8 名、温対協 6 名の他、清新公民館のメンバーにも何名かにお手伝いいただきました。

参加したのは小学 1～6 年生 28 名と保護者の皆さん。地球温暖化について勉強し、省エネ実験を体験した後、ソーラーオルゴールの工作を楽しみました。今回は参加者も多く低学年の子どもが多いことが予想されたので、

スタッフの人数も増やすなどの対応をとりました。そのためか工作は順調に進み、予定の時間より早めに全員が工作を完成させました。

今後もアース・エコは温対協の事業を支援していきます。 [桑原]

これからの活動予定

- ◇ 8月17日(金) 緑区子どもアドベンチャー 横浜市緑公会堂
- ◇ 8月28日(火) なるほど! 体験出前教室 横須賀市内の小学校
- ◇ 8月29日(水) 横浜市環境教育出前講座2日目 横浜市青葉区内の小学校①
- ◇ 10月26日(金) なるほど! 体験出前教室 神奈川県内の養護学校
- ◇ 10月28日(日) 白山地区センターまつり 横浜市白山地区センター

上記は計画が確定していないものを含みます。詳しくは事務局にお問合せください。 earth.eco.jimukyoku@gmail.com

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学することができます。詳しくは事務局にお問合せください。

8月の例会・勉強会

8月20日(木) 13:30-16:30
かながわ県民センター会議室

8月から例会・勉強会の開催日が毎月第3月曜日に変わります。

会員の皆さんのご参加をお待ちしています。

アース・エコは持続可能な社会の実現を目指します

13 気候変動に具体的な対策を



地球温暖化などの気候変動とその対策(緩和と適応)について理解が深まり、行動に移す人が増えるように、以下の活動に取り組みます。【13】

- 電気、ガス、ガソリンなどのエネルギーの使用効率を良くする方法を伝え、家庭での省エネの実践を呼びかけます。【7】
- 限りある資源やエネルギーに過度に依存した生活から自然と調和した生活へと、ライフスタイルの変更を呼びかけます。【12】
- 持続可能な社会の姿とそれを実現するための知恵をより多くの人と共有し、行動します。【4】
- 科学者・技術者をめざす子どもが増えるように、科学・技術のおもしろさ・楽しさを子どもたちに伝えます。【9】

以上の活動を、行政、学校、市民団体などとのパートナーシップにより進めます。【17】

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



12 つくる責任 つかう責任



4 質の高い教育をみんなに



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



17 パートナーシップで目標を達成しよう



地球温暖化やボランティア活動に関心のある方

私たちと一緒に活動しませんか？

アース・エコの活動に参加してみませんか。例会・勉強会の見学も歓迎します。事前にメールでお問い合わせください。⇒ info@npo-earth-eco.com

会員募集中！

アース・エコ

検索



私たちの活動は皆さまからのご寄附で支えられています

アース・エコへの寄附は「よこはま夢ファンド」にお申し込みください。インターネットまたは郵送・ファクス・Eメールでお申込みの際に、支援したい団体に「アース・エコ」をご指定ください。税の優遇措置が受けられます。

詳しくは <http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/>

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です。

ホームページ <http://www.npo-earth-eco.com>

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡はこちらまで info@npo-earth-eco.com